

[前画面へ戻る](#)

④ 科目名	睡眠医学
④ 科目名(英訳)	Sleep Medicine
④ 科目ナンバー	LB126A01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	野田 明子 宮崎 総一郎(非)
④ 単位数	2
④ 開講学年	1年
④ 開講セメスター	秋期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:LB
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	
④ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	睡眠は脳および身体機能を維持するために必要不可欠であり、生活の向上に重要な役割を果たしている。最近の20-30年間に睡眠学・睡眠医療は急速に進歩した。本科目は基礎医学に属し、生命健康に関する重要な科目として位置づけられる。この科目では、睡眠に関する基礎知識・素養を身に付け、成長や加齢に伴う睡眠の変化、健康維持・社会生活と睡眠との関係などを学ぶ。なお、履修にあたっては所属する学部学科の教育目的との関連についても確認することが望ましい。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:○ ③-(2):○ ④-(2):◎
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 傾聴・受信力 / 学び続ける能力 実行力

④ 授業の主旨 (概要)	<p>社会の24時間化、高齢化社会を背景に睡眠医学・睡眠医療、臨床生理学検査は目覚ましい発展をとげつつある。各種疾病の病態生理および疾病診断・治療のための臨床検査の知識を深める。心身の健康維持に必須である睡眠について理解する。</p> <p>【実務経験のある教員等による授業科目】 該当教員1:野田 明子 実務経験内容:臨床検査技師38年0ヶ月 授業内容との関連性:臨床検査技師としての実務経験を踏まえて、睡眠の生理およびその異常について講義を行う。</p>																								
④ 具体的 達成目標	<p>生理学的検査の役割と測定意義、睡眠の役割・睡眠障害について知識を深め、疾病予防・健康管理することができる。また、教科書および専門書に記載の睡眠障害およびその合併症の評価法を理解し、臨床検査技師国家試験に必要なレベルの臨床生理学の基礎知識を説明できる。</p>																								
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>【内容】</td> <td>生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の目的と技師の役割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>【事前】生理学的検査の役割と測定意義について調べる。 【事後】生理学的検査の役割と測定意義についてレポートを作成する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【内容】</td> <td>生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の注意事項 患者心理・睡眠障害</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>【事前】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項について調べる。 【事後】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項についてレポートを作成する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【内容】</td> <td>外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査、手術室などでの生体情報モニタリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>【事前】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査について理解を深める。 【事後】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査についてレポートを作成する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【内容】</td> <td>睡眠障害の対応 睡眠評価 睡眠健康指導</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】</td> <td>【事前】睡眠障害の対応と睡眠健康指導について調べる。 【事後】睡眠評価についてレポートを作成する。</td> </tr> </table>	1	【内容】	生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の目的と技師の役割		【授業外学習】	【事前】生理学的検査の役割と測定意義について調べる。 【事後】生理学的検査の役割と測定意義についてレポートを作成する。	2	【内容】	生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の注意事項 患者心理・睡眠障害		【授業外学習】	【事前】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項について調べる。 【事後】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項についてレポートを作成する。	3	【内容】	外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査、手術室などでの生体情報モニタリング		【授業外学習】	【事前】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査について理解を深める。 【事後】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査についてレポートを作成する。	4	【内容】	睡眠障害の対応 睡眠評価 睡眠健康指導		【授業外学習】	【事前】睡眠障害の対応と睡眠健康指導について調べる。 【事後】睡眠評価についてレポートを作成する。
1	【内容】	生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の目的と技師の役割																							
	【授業外学習】	【事前】生理学的検査の役割と測定意義について調べる。 【事後】生理学的検査の役割と測定意義についてレポートを作成する。																							
2	【内容】	生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策 検査の注意事項 患者心理・睡眠障害																							
	【授業外学習】	【事前】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項について調べる。 【事後】生理学的検査の安全対策・感染対策・注意事項についてレポートを作成する。																							
3	【内容】	外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査、手術室などでの生体情報モニタリング																							
	【授業外学習】	【事前】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査について理解を深める。 【事後】外来、病棟、手術室など医療現場における生理学的検査についてレポートを作成する。																							
4	【内容】	睡眠障害の対応 睡眠評価 睡眠健康指導																							
	【授業外学習】	【事前】睡眠障害の対応と睡眠健康指導について調べる。 【事後】睡眠評価についてレポートを作成する。																							

授業計画	5	【内容】 循環系の検査 心電図 臨床的意義と実施	【授業外学習】 【事前】心電図について調べる。 【事後】心電図についてレポートを作成する。			
	6	【内容】 循環系の検査 異常心電図 緊急対応	【授業外学習】 【事前】異常心電図について調べる。 【事後】異常心電図についてレポートを作成する。			
	7	【内容】 循環器系の検査 心臓超音波検査 検査の適応と実施	【授業外学習】 【事前】心臓超音波検査について調べる。 【事後】心臓超音波検査についてレポートを作成する。			
	8	【内容】 呼吸器系の検査 血液ガス・酸塩基 睡眠関連呼吸障害の診断と治療	【授業外学習】 【事前】血液ガス・酸塩基平衡について調べる。 【事後】血液ガス・酸塩基平衡についてレポートを作成する。			
	9	【内容】 呼吸器系の検査 基礎 睡眠時無呼吸検査 検査の適応と実施	【授業外学習】 【事前】睡眠時無呼吸について知識を深める。 【事後】睡眠時無呼吸検査についてレポートを作成する。			
	10	【内容】 神経・筋系の検査 睡眠脳波 検査の適応と実施	【授業外学習】 【事前】脳波検査について調べ、理解する。 【事後】脳波検査についてレポートを作成する。			
	11	【内容】 神経・筋系の検査 筋電図検査 検査の適応と実施	【授業外学習】 【事前】筋電図検査について調べ、理解する。 【事後】筋電図についてレポートを作成する。			
	12	【内容】 神経・筋系の検査 筋電図検査 異常所見	【授業外学習】 【事前】筋電図検査の異常所見について調べ、理解する。 【事後】筋電図検査の異常所見についてレポートを作成する。			
	13	【内容】 睡眠ポリグラフ検査 検査の適応と実施	【授業外学習】 【事前】睡眠ポリグラフ検査の知識を深める。 【事後】睡眠ポリグラフ検査についてレポートを作成する。			
	14	【内容】 神経・筋系の検査 睡眠ポリグラフ検査 睡眠障害の診断・治療 睡眠問題 討論会	【授業外学習】 【事前】睡眠障害の診断・治療について調べ、理解する。 【事後】睡眠障害の診断・治療についてレポートを作成する。			
	15	【内容】 神経・筋系の検査 睡眠ポリグラフ検査 神経・筋系の診断と治療	【授業外学習】 【事前】神経・筋系疾患の診断と治療について調べ、理解する。 【事後】神経・筋系疾患の診断と治療についてレポートを作成する。			
	授業方法	教科書に沿って講義を進める。必要に応じてプリントを配布する。症例検討・討論も行う。課題の重要ポイントを講義において提示する。学生へのフィードバック方法は、適宜対面、メールまたはCoursePowerで行う。				
	成績の評価方法	具体的達成目標にあげた知識が得られたかどうかを小テスト、レポートおよび学期末試験により評価する。				
	成績の評価基準	達成目標がどの程度達成できているかを、小テスト・レポート(40%)および学期末試験(60%)により点数化する。これらの達成度を総合して100点に換算し、定められた成績評価基準・単位認定基準(S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上)に従って成績評価を行う。				
	教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格
1.		『基礎からの睡眠医学』	野田明子、他	名古屋大学出版	5800	978-4-8158-0638-5
2.		『臨床検査学講座 生理機能検査学』	東條尚子、他	医歯薬出版株式会社	6480	978-4-263-22368-0
3.	『臨床検査学講座 生理学』	佐藤健次、他	医歯薬出版株式会社	2600	978-4-263-22904-0	

④ 参考文献	
④ 備考	
④ 関連 ホーム ページ	
④ メール アドレス	野田 明子 ssu1904@fsc.chubu.ac.jp 宮崎 総一郎 swk7098@fsc.chubu.ac.jp
④ オフィス アワー	